

人権だより

考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心

市川市立第三中学校
令和7年12月12日発行
(第8号)

冬休みを迎える皆さんへ 「インターネットは危険がいっぱい」



書き込む前に、よく考えて！

ネット社会では、軽い気持ちで書き込んだ内容をつかき、大きな事件へ発展するケースが最近多く見られるようになりました。

多くの人がスマートフォンを利用するようになり、投稿した内容が瞬時に拡散する可能性があるため、書き込む前に、よく考えましょう。

SNSは危険！ 子どもは大丈夫？



最近SNSをきっかけとした誘拐事件などの凶悪事件が多発しています。このような中、オーストラリアでは、16歳未満のSNS利用を禁止する法案が可決されました。

日本では、子どもが会員制交流サイト（SNS）を使う危うさについて改めて感じます。保護者の方は、SNSによる被害に遭わないように、見守っていただくようお願いします。

スマホのセキュリティ対策 …必ず「フィルタリング」を

人権を侵害するような書き込みに対しては、プロバイダ責任制限法に基づき、被害者がプロバイダ等に対してインターネット上の書き込み削除や書き込みをした者の情報開示を求めることができます。

一方で、最近では、他人になりすましたり、プロバイダを特定できない形で書き込んだりするなど、手段が悪質かつ巧妙化しています。

私たちは、どんな場合でも、情報の収集や利用に当たっては、利便性を享受するだけでなく、他者の人権を配慮するとともに、適切な情報セキュリティ対策をとることが大切です。スマートフォン等は、必ずフィルタリングをかけましょう。

戦争は重大な人権侵害



日本は、第二次世界大戦（太平洋戦争）において、広島・長崎への原爆投下、沖縄への上陸攻撃など、数多くの犠牲者を出し、ようやく終戦を迎えました。悲惨な経験を糧に「二度と過ちは犯さない」という信念のもと「戦争」のない社会を創りあげてきました。しかし、世界をみると、民族や宗教間での対立や偏見・差別が存在し、そのことが新たな紛争を引き起こしているという現状があります。

2022年の2月にロシアがウクライナに侵攻してもうすぐ4年となります。さらには、イスラエルとハマスの紛争も今なお不安定な状況があります。最大の被害者はそこで暮らす住民です。自由に生きる権利や好きなところに住み続ける権利。さらには、尊い命まで奪われています。

戦争という重大な人権侵害に対し、私たちにできることは何でしょうか？地球市民として、もう一度「人権」について考えてみましょう。

相手の気持ちになって考えて

人権は誰にでもある権利です。自分にもありますし、相手にもあります。自分の権利だけ主張していると、知らずに相手の人権を侵害してしまうことになります。こうならないためにも、「自分がもし相手の立場だったら」と考えて行動することが大切です。

いじめを受けたら、すぐ相談しよう

文部科学省の定義では、まわりが「いじめ」ではないと思っても、本人が苦しんでいて「いじめだ」と認識していたら、それは「いじめ」です。

いじめは、決して許されません！

・子供の人権110番

0120-007-110

・24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310

24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310



いじめで困ったり、自分や友人の安全に不安があったりしたら、一人で悩まず、いつでもすぐ電話で相談してください。